

タモギダケ由来グルコシルセラミド含有ドリンクの経口摂取による安全性評価と皮膚改善効果

Evaluation of the safety and skin improvement effect of beverage containing glucosylceramide extracted from Tamogitake

鈴木健^{1) 5)} *、関口博太^{2) 6)}、酒井祥太³⁾、高橋環奈^{1) 5)}、松本 聡²⁾、勝又亨祥⁴⁾、五十嵐靖之³⁾

1) 日生バイオ株式会社、2) 株式会社エル・エスコレーション、3) 北海道大学先端生命科学研究院、4) 株式会社エクサム、5) NPO法人遺伝子栄養学研究所、6) 株式会社ライフ・サイエンス研究所

Takeshi Suzuki¹ Hirotaka Sekiguchi^{2,6} Shota Sakai³ Kanna Takahashi^{1,5} Shigeru Hayasida^{1,5}

Satoshi Matsumoto² Katsumata Ryoshou⁴ Igarashi Yasuyuki³

(¹ Nissei Bio Company, Limited ² L・S corporation ³ Hokkaido University ⁴ EXAM CO.,LTD ⁵ Gene Trophology Institute ⁶ Life Science Institute Co. Ltd.)

【目的】タモギダケ由来グルコシルセラミドの皮膚に対する機能性評価を目的にヒトモニター経口摂取による肌質改善効果の評価(保湿効果改善を主とした検討及び安全性の確認)の試験を実施した。

【方法】33名の被験者(女性 40~65歳)に、タモギダケ由来セラミド含有ドリンク1本(グルコシルセラミド 0.6mg含有)を1日1回夕食後に12週間摂取させた。摂取開始日(0週)、6週目および12週目に、医師診察・肌質測定(水分、蒸散、弾力、マイクロスコープ、VISIA)・臨床検査(血液・尿)等の検査を行った。

【結果・考察】日誌等による有害事象の検証では、試験品摂取に伴う副作用は認められなかった。体重・BMI値の推移においては、顕著な体重の増減は認められなかった。臨床検査値の推移は、基準値内の変動であり、医師問診においても異常は認められなかったことから、試験品であるタモギダケセラミド飲料(グルコシルセラミド 0.6mg含有)50mLを1日1本3ヶ月間の摂取による安全性は高いものと示唆された。

角質水分量は、前腕内側部において12週目に増加することが認められた。VISIA測定では、紫外線シミスコアが6週目および12週目で有意に減少したことから、試験品摂取により、産生されたメラニンあるいは蓄積したメラニンの排出を促した結果である可能性が推察された。マイクロスコープにおけるキメ評価でも、6週目および12週目で摂取開始日と比較しキメが整う方向に推移していることから試験品摂取により、乱れていた皮膚ターンオーバーを正常な皮膚ターンオーバーに戻す作用があるものと推察された。

自覚アンケートにおいて、本試験品摂取による体質改善質問項目(むくみ・疲労感等)において、摂取開始日と比較し変化が認められなかったが、肌質は改善している実感を被験者はもっている結果であった。

以上の結果、タモギダケセラミド飲料(グルコシルセラミド 1.2mg含有)は、3ヶ月間1日1本50mLの摂取での安全性は高いものと示唆された。また、肌質改善効果では乱れた皮膚ターンオーバーを整える作用を保有している可能性が推察された。